

雪は新しいエネルギー

媚山 政良 文

— 未来へつなぐエネルギー社会

今、世界各地で、地球温暖化による異常気象や環境問題が起こっています。南太平洋の島々では、海面上昇による水没の危機がせまっています。日本でも、最高気温が三十五度以上の猛暑日が増加しています。私たちが石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料を大量に使用することで、大量のエネルギーと引きかえに、二酸化炭素などの温室効果ガスを排出していることが、地球温暖化の大きな原因といわれています。

私たちは、化石燃料にたよらない社会をどのように作りだしていけばよいのでしょうか。

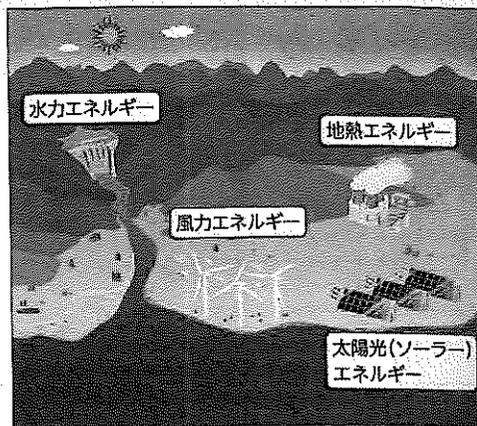


図1 再生可能エネルギー

ここで、エネルギーについて考えてみましょう。エネルギーとは、「何かにはたらきかけそれを変化させる力」です。化石燃料に代わる新しいエネルギーとして注目されているのが、再生可能エネルギーです。代表的なものに、太陽光、風力、水力、地熱などがあります(図1)。これらのエネルギーは、自然の中でくり返し生成され、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しません。

みなさんは、「雪はエネルギーだ。」と言われたらどう思いますか。雪をお湯に入れるとお湯の温度が下がります。つまり、雪は、温度を下げる「冷熱エネルギー」と考えることができます。しかも、雪は毎年、空から降ってきて使いきってしまいうことがありません。雪は、太陽光や風力、水力と同じ再生可能エネルギーなのです。

異常
危機

漢字
↓144ページへ

